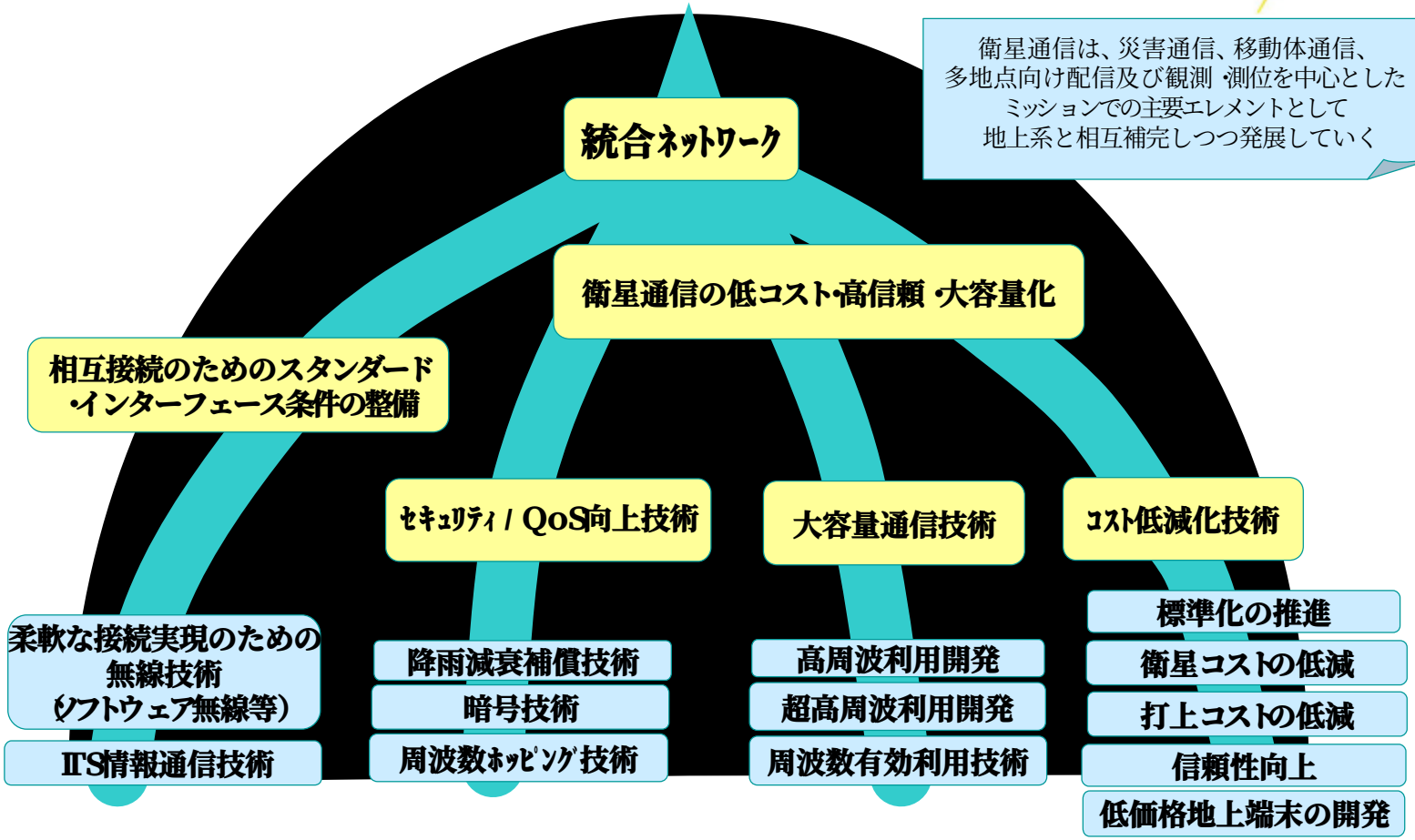
2.3 統合ﾈｯﾄﾜｰｸ実現のための技術課題

衛星通信は、災害通信、移動体通信、
多地点向け配信及び観測・測位を中心とした
ミッションでの主要エレメントとして
地上系と相互補完しつつ発展していく



3. 衛星・ロケット調達における考え方 (1)

衛星製造会社選定時の重点項目

- **信頼性**：　＊ **軌道上運用実績**
- **実現性**：　＊ 性能要求に対する実現性
  ＊ 衛星製造スケジュール
- **コスト**：　下記費用を総合的に勘案
  ＊ 衛星本体価格
  ＊ 射場作業・静止軌道投入作業費用
  ＊ 運用設備等

3. 衛星・ロケット調達における考え方 (2)

ロケット(打上げサービス)選定時の重点項目

- **信頼性**：　＊ **打上げ成功実績**が十分あること
- **実現性**：　＊ 打上げスケジュールの確実性と柔軟性
  ＊ ロケット性能
  ＊ 打上げサービス会社・射場における、政治的・経済的基盤の安定性
- **コスト**：　下記費用を総合的に勘案
  ＊ 打上げ費用
  ＊ 打上保険費用
  ＊ 打上げ失敗時の第三者賠償責任

3. 衛星・ロケット調達における考え方 (3)

国産衛星・ロケット利用促進につながる助成案

国内民間衛星事業者は、実績、コスト等を客観的に評価した結果、海外の衛星・ロケット会社から調達せざるを得ない状況であった。

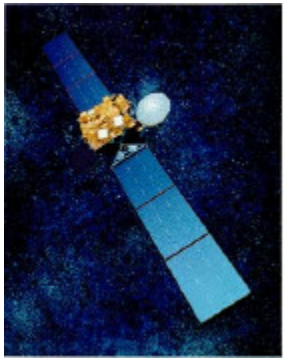
国産衛星・ロケットにおいても徐々に競争力をつけつつあるが、民間衛星事業者が国産衛星・ロケットを選択した場合に、**官がその民間衛星事業者の衛星の利用をコミットする**等の優遇措置があると競争力アップにつながる。

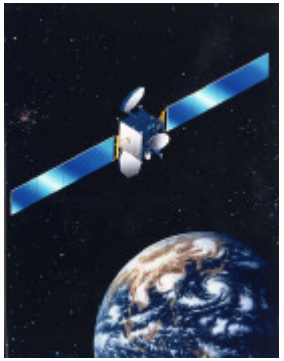
国産衛星・ロケットの実績増加 ⇒ 国際競争力の増強

参考 :宇宙通信㈱の衛星 ・ロケット調達実績

スーパーバード

A号	A2号	B2号	C号	D号
米国ロラール社製	米国ボーイング社製	米国ヒューズ社製 (現ボーイング社)	米国ヒューズ社製 (現ボーイング社)	米国ロッキード・ マーチン社製





打上げロケット(打上年)

欧州Ariane 4 ('92)	米国AtlasIIAS ('04予定)	欧州Ariane 4 ('00)	米国AtlasIIAS ('97)	欧州Ariane 4 ('00)